

◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

●第30回ポリマー光部品（POC）研究会

日時 平成26年11月19日（水） 13:00～17:30

会場 産業技術総合研究所関西センター（池田市緑丘1-8-31. 阪急宝塚線：池田駅から徒歩15分）

テーマ：車載の最新技術のトピックス

ますます光・電子化が進み、インターネットとの融合・自動運転・衝突回避など、新展開を迎える車載の関連技術について応用から将来技術、先端技術まで幅広く関連の著名な講師の方々をお招きし、5件の講演を予定しております。皆様の御参加及び活発な交流をお待ちしております。

プログラム（注：内容・順番等は変更される場合があります。）

1. 車載用レーザーダ 小川 勝（豊田中研）
2. カーエレクトロニクスを牽引する半導体技術 藤本 裕（デンソー）
3. 非冷却赤外線イメージセンサと自動車応用 木股雅章（立命館大）
4. ホログラフィーの新技术（仮） 的場 修（神戸大）
5. レーザープロジェクト搭載ヘッドアップディスプレイ 野本貴之（パイオニア）

参加費：当日会場でお支払い下さい。なお、つり銭のないよう御準備下さい。

正会員 3,000円、非会員 5,000円 学生会員 500円、学生非会員 1,000円

◎研究会後、懇親会 3,000円（仮）を予定しています。

参加申し込み

事前にメールでお申し込み下さい。（なお、当日の受付も可能ですが事前にメールにて御連絡下さい。）氏名・所属・メールアドレス・会員種別（会員・非会員・学生会員を明記）・懇親会の参加有無を下記問合せ先へお知らせ下さい。

【問合せ】 幹事

藤原 誠（住友ベークライト光電気複合インターポーザ事業開発推進部）

TEL〔028〕667-6440, E-mail:mfujiwa@sumibe.co.jp

主催 ポリマー光部品時限研究専門委員会

●マイクロ波・ミリ波フォトンクス（MWP）シンポジウム

—スマート化とリジリエンスを実現するエネルギーインターネットとそれを支える最新技術動向—

日時 平成26年12月5日（金） 13:00～17:40

会場 早稲田大学グリーン・コンピューティング・システム研究開発センター 1F 大会議室（新宿区早稲田町27.

<http://www.kikou.waseda.ac.jp/gcs/contact/> 東京メトロ東西線：早稲田駅、2番出口より徒歩1分）

概要

東日本大震災を契機に、情報とエネルギーの効率的な流通による持続的発展可能な「しなやかな社会」の構築が喫緊の社会的課題となっています。「しなやかな社会」の実現には、耐災害性を備えた高度な情報通信ネットワークと緊密に連携したスマートグリッドやITS等のサイバーフィジカルシステムが重要な役割を担います。本シンポジウムでは、サイバーフィジカルシステムとしてエネルギーインターネット技術、そのサイバーフィジカルシステムを制御する多種多様で膨大なセンサデータを効率的に分析・可視化できるコンピューティング技術、センサデータをリジリエントに流通させる次世代アクセスネットワーク技術の技術動向を見据え、「しなやかな社会」の構築に不可欠な次世代のインフラ技術について考えるとともに、今後のマイクロ波・フォトンクス技術の方向性を議論する場を提供したいと考えております。

定員：100人（定員になり次第、参加申込は締め切らせて頂きます。）

参加費：5,000円

参加申込方法：参加御希望の方は、下記申込先にアクセスして頂き、必要事項を御記入の上、お申込み下さい。お申込後にE-mailで参加登録確認をお知らせ致します。

申込先：MWP研究会ホームページ <http://www.ieice.org/~mwp/>

【問合せ】

関根徳彦（NICT）nsekine@nict.go.jp

戸田裕之（同志社大）htoda@mail.doshisha.ac.jp

主催 マイクロ波・ミリ波フォトンクス研究専門委員会

共催 MWP国内委員会

協賛 電子情報通信学会東京支部

後援 早稲田大学グリーン・コンピューティング・システム研究機構

東北大学電気通信研究機構

## ●第5回集積光デバイスと応用技術研究会

委員長 粕川秋彦（古河電工） 副委員長 横井秀樹（芝浦工大）

日時 平成26年12月5日（金） 13:30～17:30（受付13:10）

会場 京都工芸繊維大学60周年記念館1Fホール（京都市左京区松ヶ崎橋上町、京都市営地下鉄烏丸線：松ヶ崎駅より徒歩約8分、[http://www.kit.ac.jp/01/01\\_110000.html](http://www.kit.ac.jp/01/01_110000.html)）

テーマ「接合／接着技術を用いた集積光デバイスの最新動向」

第5回研究会を下記の内容で開催します。異種材料・部材の高精度・高強度な接合／接着技術は、各々の利点を組み合わせることで、単独では困難な機能を実現させることが期待できるため、光デバイスの更なる高集積化、高機能化、多機能化を可能にする大変重要な技術の一つと考えられており、研究開発が盛んに進められています。第5回集積光デバイスと応用技術研究会では、このような接合技術を用いた光デバイスに関連する講演を行います。多数の方の御参加をお待ちしております。

プログラム（変更になる可能性がある場合がございます。）

〔招待講演〕 プラズマ活性化接合による III-V/Si ハイブリッド光集積回路作製技術とデバイス特性

西山伸彦（東工大）

〔招待講演〕 異種材料直接接合技術を用いた集積形光アイソレータ 水本哲弥（東工大）

〔招待講演〕 エピフィルムボンディングによる IC ドライバ集積 LED プリントヘッド

鷲森友彦・古田裕典・中井佑亮（沖デジタルイメージング）

〔招待講演〕 ウエハ接合による結合共振器の作製とテラヘルツ波発生素子への応用

北田貴弘・井須俊郎（徳島大）・森田 健（千葉大）

〔招待講演〕 表面活性化接合による化合物半導体／シリコンハイブリッドタンデム太陽電池

重川直輝・柴 麗・森本雅史・梁 剣波（阪市大）・鬼塚隆祐・安居院高明・十楚博行・高本達也（シャープ）

〔招待講演〕 低温接合技術の動向 須賀唯知（東大）

フリーディスカッション（17:40～）

参加資格 特に関いません。

参加申込 研究会開催当日、会場にて受付けます（事前申込み不要）。

参加費 一般参加者5,000円、学生1,000円

【講演に関する問合せ先】 第5回研究会担当委員

金高健二（産総研）

TEL〔029〕861-5479 E-mail:kintaka.kenji@aist.go.jp

【その他の研究会一般に関する問合せ先】 幹事

向原智一（古河電工）

TEL〔0436〕42-1771 E-mail:tmuka@yokoken.furukawa.co.jp

山下兼一（京都工繊大）

TEL〔075〕724-7423 E-mail:yamasita@kit.ac.jp

◎最新情報は、集積光デバイスと応用技術時限研究専門委員会のホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~ipd/jpn/welcome.html>

主催 集積光デバイスと応用技術時限研究専門委員会

## ●第28回光通信システムシンポジウム「国際社会の期待に応える光通信技術—新たなイノベーションに向けて—」

実行委員長 富澤将人（NTT）

実行副委員長 福知 清（NEC）

光通信システム研究会（OCS）では、毎年12月に第二種研究会として光通信システムシンポジウムを企画しています。本年も12月11日（木）、12日（金）の両日、第28回光通信システムシンポジウムを開催致します。

概要

最近、世界的に幅広く100Gデジタルコヒーレント技術などの日本発のイノベーション技術が社会実装され、現在400G/1T光通信技術の研究開発が進められています。今年28回目を迎える光通信システムシンポジウムでは、「今後も国際社会の期待に応える光通信技術を創出しつづける」ことを目的に、今回初めて海外から基調講演者をお招きし、国際社会から見た日本の光通信に期待される役割を議論し、新たなイノベーションに向けた方向性を展望します（同時

通訳あり)。また関連するワークショップや招待講演、ランプセッションを企画しています。更に将来の担い手となる若手研究者によるポスターセッション、光通信部品・計測機器等の光通信関連製品の展示会、及び委託研究等の最新研究成果を紹介する展示会も併設して開催致します。関係者多数の御参加をお待ちしております。

日時 平成26年12月11日(木) 12:30-21:30(受付は11:30より開始予定)

12日(金) 9:30-17:05(受付は8:30より開始予定。終了時刻は予定です)

会場 東レ総合研修センター(三島市末広町21-9。JR線:三島駅より徒歩12分、タクシー2分。[http://www.toray.co.jp/network/loc\\_401.html](http://www.toray.co.jp/network/loc_401.html))

[参加費、懇親会、宿泊]

参加費:会員8,000円、非会員11,000円、学生1,000円

懇親会:初日(12日)夕刻に開催

※宿泊については、OCSホームページにて最新の情報を御確認下さい。

[参加申込方法]

- ・光通信システム研究会(OCS)ホームページにて受け付けます。<http://www.ieice.org/cs/ocs/jpn/>
- ・会場、宿泊室の収容人員に限りがございます。御希望に添えない場合もあることをあらかじめ御了承下さい。
- ・お申込の際に連絡頂いた情報は、OCS研究会にて管理し、光通信システムシンポジウムの運営、及び、OCS研究会からの連絡以外の目的には使用致しません。

プログラム(タイトル等変更の場合有。最新プログラムは、OCSホームページを御参照下さい。)

<http://www.ieice.org/cs/ocs/jpn/>

11日

#### 1. 2014年OCS表彰式

昨年9月~今年8月の光通信システム研究会で発表された論文から、特に優れた論文と若手講演者に対し、それぞれ論文賞と奨励賞を授与します。

#### 2. 特別講演

ワールドレコードの変遷から見る光通信技術の発展と次の研究フロンティア(仮) 宮本 裕(NTT)

#### 3. ワorkshop「実用間近400G/1T光通信技術」

(1) 400G/1Tデバイス・モジュール開発動向(仮) 巽 泰三(住友電工)

(2) 400G短距離システム(IEEE標準化動向含む)(仮) 高原智夫(富士通研)

(3) FEC関連(仮) 水落隆司(三菱電機)

#### 4. ポスターセッション

今回もポスターセッションを実施します。公募形式で原則33歳未満の方を対象とします(学術的内容に限ります)。

※前後半に分けて2部構成にて行います。

#### 5. IEEE Communications Society JC招待講演(主催IEEE ComSoc JC)

講演調整中

◎18:00-19:30に懇親会を行います。

#### 6. ランプセッション「シリコンフォトニクスは革新的?実用的?」

OCS研究会は、今年度から新たな領域探索を目指し、デバイスのシステム応用の分野において「光通信用新機能デバイス、光集積回路」を新たなトピックスに加えました。そこで今回のランプセッションでは、近年注目されるシリコンフォトニクスをテーマに、その技術について話題提供頂き、御参加頂く皆様と議論を行い、理解を深めたいと思います。皆様の御参加をお待ちしております。

オーガナイザ 五十嵐浩司(阪大)

13日

#### 1. IEEE Photonics Society JC招待講演(主催IEEE PS JC)

エラスティックネットワーク技術 神野正彦(香川大)

#### 2. 招待講演

(1) 光衛星間通信 高山佳久(NICT)

(2) スマートハウス分野におけるホームネットワークの標準化動向 山崎毅文(NTT)

(3) 8K/4K技術開発の展望とブラジルW杯8Kパブリックビューイング 井口和久(NHK)

#### 3. 基調講演(同時通訳あり)

講演タイトル調整中 Vincent W.S. Chan(マサチューセッツ工科大)

#### 4. ワorkshop2(同時通訳あり)「世界から見た日本の光通信技術への期待」

(1) Atul Srivastava(NEL-America)

(2) Emmanuel Le Taillandier de Gabory(NEC)

(3) 講演者調整中

(4) パネルディスカッション(講演タイトル調整中)

[展示会] 例年同様、講演会場前ロビーにて展示会を実施します。

12月11日(木) 11:30~12:30, 15:40~17:00

12日(金) 8:30~9:30, 10:50~11:10, 12:30~13:50

**【講演内容等に関する問合せ先】**

乾 哲郎 (NTT 未来ねっと研究所)

〒239-0847 横須賀市光の丘1-1

TEL [046] 859-2455, FAX [046] 859-5541

E-mail : inui.tetsuro-ocs@lab.ntt.co.jp

**【参加申込に関する問合せ先】**

市井健太郎 (フジクラ)

〒285-8550 佐倉市六崎1440

TEL [043] 484-2197, FAX [043] 481-1210

E-mail : kentaro.ichii@jp.fujikura.com

主催 光通信システム研究専門委員会

協賛 IEEE Communication Society Japan Chapter, IEEE Photonics Society Japan Chapter, 超高速フォトニックネットワーク開発推進協議会 (PIF), フォトニックネットワーク研究専門委員会 (PN), 光通信インフラの飛躍的な高度化に関する時限研究専門委員会 (EXAT)

## ★ネットワークシステム研究会 (NS)

専門委員長 平松 淳 副委員長 戸出英樹  
幹事 橋 拓至・柴田哲良 幹事補佐 太田正純・鎌村星平

## ★コミュニケーションクオリティ研究会 (CQ)

専門委員長 高橋 玲 副委員長 板倉英三郎・矢守恭子  
幹事 平栗健史・山崎康広 幹事補佐 山本雅大

## ★情報通信マネジメント研究会 (ICM)

専門委員長 阿多信吾 副委員長 木下和彦・吉原貴仁  
幹事 野村祐士・湯本一磨 幹事補佐 高橋英士

## ★ネットワーク仮想化研究会 (NV) (第二種研究会)

◎本研究会は NS 研究会と CQ 研究会, ICM 研究会, NV 研究会の併催です. 研究会資料は各研究会ごとに発行されます.

日時 11月13日(木) 9:00~16:50

14日(金) 9:00~16:50

会場 高知市文化プラザかるぽーと(高知市九反田2-1, 高知駅より土佐電鉄:はりまや橋下車徒歩5分/菜園場下車  
徒歩3分. <http://www.bunkaplaza.or.jp/access/index.html>)

議題 ネットワーク品質, ネットワーク計測・管理, ネットワーク仮想化, ネットワークサービス, 及び一般

13日午前 NS-1 (9階 第3学習室) (9:00~10:15)

NS-1. NFVにおける, Hypervisor 上でのネットワーク機能の実時間性確保方法

○浅野祐喜・石谷和久・山下康治 (NTT)

NS-2. 劣環境ネットワークにおけるデータ到達率駆動型 TTL 制御法 ○小倉凌太・朝香卓也 (首都大東京)

NS-3. 通信制御サーバクラスタにおけるネットワーク分断対処手法の提案

○岩佐絵里子・金子雅志・福元 健 (NTT)

ICM-1 (9階 特別学習室) (9:00~10:15)

ICM-4. 異なるネットワークにまたがるデータ流通を可能とするデータブリッジ技術の提案

○足立洋之・井上 晃・名和長年・土川公雄 (NTT)

ICM-5. 保健医療福祉分野 PKI と OpenFlow を連携した医療用ネットワークの提案

○李 中淳・小尾高史・鈴木裕之・藤田和重・谷内田益義・大山永昭 (東工大)

ICM-6. オペレーションシステム開発に対する標準管理機能モデルの適用性に関する一検討

○武 直樹・西尾 学 (NTT)

CQ-1 (9階 第3学習室) (10:25~11:40)

CQ-7. アクセスポイント選択におけるユーザ誘導とモビリティマネジメントの適用

○矢守恭子 (朝日大)・田中良明 (早大)

CQ-8. ワイヤレス環境における広域ライブマイグレーションと経路制御の統合に関する一考察

○間中雄士・長谷川慶太・小泉佑揮・長谷川 亨 (阪大)

CQ-9. Android スマートフォン向け CMT-SCTP スキームの実装評価

○立花篤男・吉田芳明・渋谷恵美・長谷川輝之 (KDDI 研)

ICM-2 (9階 特別学習室) (10:25~11:40)

ICM-10. コンテンツ指向ネットワークにおける動的蟻コロニー最適化を用いた経路情報管理方式

○馬目慎太郎・朝香卓也 (首都大東京)

ICM-11. 複数ツリークラスタで構成されるワイヤレスセンサーネットワーク管理手法の検討 松浦 洋 (NTT)

ICM-12. 分散ネットワークにおけるユーザ移動に追従した事前データ配備方式に関する検討

○庄子裕介 (富士通)・上野 仁 (富士通研)・橋本正則・秦 善明 (富士通)

13日午後 招待講演 (11階 大講義室) (13:00~16:40)

共通-13. [招待講演] 大規模ネットワークの故障診断に向けたログ分析技術 木村達明 (NTT)

共通-14. [招待講演] 圧縮センシングを用いた多次元無線トモグラフィ

○松田崇弘 (阪大)・原 晋介 (阪市大)・滝沢賢一・小野文枝・三浦 龍 (NICT)

共通-15. [招待講演] QoE-centric オペレーションの実現に向けた取り組み紹介 山本浩司 (NTT)

共通-16. [特別講演] TM Fortm Action Week Morristown 2014 会合報告 堀内信吾 (NTT)

共通-17. [招待講演] 高速シミュレーションによるネットワーク特性評価について 中川健治 (長岡技科大)

14 日午前 NS-2 (9 階 第3 学習室) (9:00~10:40)

NS-1. A Proposal of Intrusiveness-aware Estimation for a Packet Delay Distribution

○Kohei Watabe・Kenji Nakagawa (Nagaoka Univ. of Tech.)

NS-2. 分散データストアにおける属性値検索の負荷平準化方式 ○近藤 悟・岡本光浩・福元 健 (NTT)

NS-3. サーバ移動サービスにおけるサーバ配置決定アルゴリズム

○星野佑太・福島行信・横平徳美 (岡山大)・村瀬 勉 (NEC)・須田達也 (University Netgroup)

NS-4. 大規模光 IP 網におけるパス復旧順序最適化法の提案

○鎌村星平・山本 宏・源田浩一 (NTT)・小泉佑揮・荒川伸一・村田正幸 (阪大)

CQ-2 (9 階 特別学習室) (9:00~10:40)

CQ-5. 蓄積運搬転送型ルーティングにおける端末密度に基づく適応的転送確率制御

○城之内達郎・木村共孝・松田崇弘・滝根哲哉 (阪大)

CQ-6. 逆方向伝搬を利用した分散型フロー制御方式の提案

○堤 康平・大崎博之 (関西学院大)・鈴木秀明 (NICT/CiNet)

CQ-7. スケールフリー構造が TCP エンド間性能に与える影響:スループット・パケット棄却率・ラウンドトリップ時間の解析 ○作元雄輔 (首都大東京)・大崎博之 (関西学院大)

CQ-8. Influence of Network Delay on QoE for Soft Objects in Networked Haptic Virtual Environment

○Mya Sithu (Nagoya Inst. of Tech.)・Pingguo Huang (Tokyo Univ. of Science)・Yutaka Ishibashi・Norishige Fukushima (Nagoya Inst. of Tech.)

NS-3 (9 階 第3 学習室) (10:50~12:30)

NS-9. 4K 映像を用いた移動無線ネットワーク上での DASH 配信評価

○竹中幸子・原田臨太郎・黒川沙代・武藤健史・金井謙治・甲藤二郎 (早大)

NS-10. 放送通信同期合成のための大規模プッシュ配信システムの検討 ○田中 壮・西村 敏・遠藤洋介 (NHK)

NS-11. 自己複製によるインターネットレスアプリケーション拡散手法の提案と実装

○松本誠義・荒川 豊・安本慶一 (奈良先端大)

NS-12. [奨励講演] 移動端末を対象とした快適経路のコンテンツ先回り配信及びオフローディングシステムへの応用

○金井謙治・竹中幸子・甲藤二郎 (早大)・村瀬 勉 (NEC)

ICM-3 (9 階 特別学習室) (10:50~12:30)

ICM-13. オペレーションシステムのデータ共通化と機能部品化に関する一検討 ○西尾 学・武 直樹 (NTT)

ICM-14. 仮想化ネットワークを運用管理するオペレーションシステムアーキテクチャの一検討

○遠藤大己・高橋謙輔・大西浩行・田原光穂・明石和陽 (NTT)

ICM-15. [奨励講演] 運用手順書に対する運用自動化の容易性を示す評価指標の提案

○柳瀬隆史・麻岡正洋・難波 功 (富士通研)

ICM-16. 分散型運用管理機能を用いた網構成情報登録の提案 ○丹羽朝信・宮澤雅典・林 通秋 (KDDI 研)

14 日午後 NV (9 階 特別学習室) (13:25~15:25)

◎ネットワーク仮想化時限研究専門委員会 (B 会場) 主催の第二種研究会のプログラムは以下を参照

<http://www.ieice.org/~nv/%e7%a0%94%e7%a9%b6%e4%bc%9a/>

CQ-3 (9 階 第3 学習室) (13:45~15:25)

CQ-17. Navigation timing API を用いた Web 品質劣化切り分け

○本多泰理・遠藤直人・吉村憲子・土屋利明・野尻秀樹・高橋 玲 (NTT)

CQ-18. Web ブラウジングの閲覧内容を考慮した QoE 評価法

○富永聡子・佐藤哉子・吉村憲子・増田征貴・青木仁志 (NTT)

CQ-19. Pricing and Revenue Management for Cloud Resources ○Xianwei Li・Bo Gu・Cheng Zhang (Waseda Univ.)・Kyoko Yamori (Asahi Univ.)・Yoshiaki Tanaka (Waseda Univ.)

CQ-20. 緊急時の回線留保制御における到着呼量に基づく閾値設定法

○田辺和輝 (東工大)・宮田純子 (神奈川大)・馬場健一 (工学院大)・山岡克式 (東工大)

NS-4 (9 階 第3 学習室) (15:35~16:50)

NS-21. Analysis of Memory Bias of Network Quality to Users' Communication Behavior during Web Browsing

○Hideyuki Koto・Norihiro Fukumoto・Sumaru Niida・Shigehiro Ano (KDDI R & D Labs.)・Shin'ichi Arakawa・Masayuki Murata (Osaka Univ.)

NS-22. DTN 環境でのコンテンツ指向ネットワークにおけるコンテンツ要求再送抑制制御方式の提案

○速水祐作 (関西大)・柳生智彦 (NEC)・山本 幹 (関西大)

NS-23. モバイルコアネットワークへの Multipath TCP 導入方式の提案とその一評価

○小島祐治・川崎 健・須加純一・武智竜一 (富士通研)

ICM-4 (9 階 特別学習室) (15:35~16:50)

ICM-24. [奨励講演] EMS 設定制御負荷平準化技術への時系列モデル適用とレイテンシ予測に基づく設備量算出手法の提案 ○坂田浩亮 (NTT 東日本)・田原光穂 (NTT)

ICM-25. [奨励講演] ネットワーク機能仮想化による EPC シグナリングの輻輳耐性技術の提案  
○白井 健・橋本健志・野一色裕人・北辻佳憲 (KDDI 研)

ICM-26. クラウド事業向けサービスレベル監視基盤の提案と評価 ○佐藤竜也・吉澤政洋 (日立)

◎13 日研究会終了後、懇親会を予定しておりますので御参加下さい。詳細は別途案内致します。

☆NS 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12 月 18 日 (木), 19 日 (金) 伊勢市観光文化会館 [締切済] テーマ: マルチホップ/リレー/協調, 耐災害無線ネットワーク, センサ・メッシュネットワーク, アドホックネットワーク, D2D・M2M, 無線ネットワークコーディング, ハンドオーバー/AP 切替/接続セル制御/基地局間負荷分散/モバイル NW 動的再構成, QoS・QoE 保証/無線 VoIP, 一般

1 月 22 日 (木), 23 日 (金) 八丈町商工会 [未定] テーマ: NW ソフトウェア (ソフトウェアアーキテクチャ, ミドルウェア), NW アプリケーション, SOA/SDP, NGN/IMS/API, 分散制御・ダイナミックルーティング, グリッド, NW 及びシステム信頼性, NW 及びシステム評価, 一般

**【発表申込先】** 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

**【問合せ先】**

NS 研究会幹事及び幹事補佐

E-mail: ns-secretariat@mail.ieice.org

太田正純 (NTT) TEL [0422] 59-3396

柴田哲良 (NTT) TEL [0422] 59-3205

◎最新情報は、NS 研ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/ns/jpn/>

◎プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

☆CQ 研究会

**【問合せ先】**

平栗健史 (日本工大)

TEL [0480] 33-7658, FAX [0480] 33-7680

山崎康広 (NEC)

TEL [044] 396-2616, FAX [044] 431-7609

E-mail: cq\_ac-kanji@mail.ieice.org

◎最新情報は、CQ 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/cq/jpn/>

☆ICM 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

1 月 15 日 (木), 16 日 (金) 関門海峡&門司港レトロ (旧大連航路上屋) [未定] テーマ: ライフログ活用技術, オフィス情報システム, ビジネス管理, 一般

**【発表申込先】** 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

**【問合せ先】**

ICM 研究会幹事

E-mail: icm-kanji@mail.ieice.org

<http://www.ieice.org/~icm/jpn/>

## ★環境電磁工学研究会 (EMCJ)

専門委員長 多氣昌生 副委員長 曾根秀昭

幹事 高谷和宏・豊田啓孝 幹事補佐 肖 鳳超・高橋篤弘

## ★光応用電磁界計測研究会 (PEM) (第二種研究会)

専門委員長 黒川 悟 副委員長 大西輝夫・村田博司

幹事 笹川清隆・水野麻弥

◎本研究会は EMCJ 研究会と PEM 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 11月14日(金) 10:15~17:30

会場 産業技術総合研究所臨海副都心センター本館 4F 会議室 (江東区青海 2-3-26. 新交通ゆりかもめ: テレコムセンター 駅下車徒歩 3 分. りんかい線: 東京テレポート 駅下車徒歩 15 分. <https://unit.aist.go.jp/waterfront/access/index.html> TEL [029] 861-5629 森岡健浩)

議題 光応用電磁界計測, EMC 一般

EMCJ-1. 商用電源系のインピーダンスを考慮した照明器具の過渡妨害波評価方法

○マハムド ファーハン・岡本 健・後藤信司・高谷和宏 (NTT)

EMCJ-2. S パラメータによる擬似電源回路網の特性測定

○篠塚 隆・藤井勝巳 (NICT)・杉浦 行・和田修己 (京大)

EMCJ-3. 擬似電源回路網の特性測定に用いる AC-SMA adapter の影響評価

○篠塚 隆・藤井勝巳 (NICT)・杉浦 行・和田修己 (京大)

EMCJ-4. バイログアンテナの自由空間アンテナ係数校正法 ○黒川 悟・廣瀬雅信・館谷充隆 (産総研)

午後

PEM-5. 光マイクロ波伝送装置とベクトルシグナルアナライザーを用いた EMI ノイズの位相分布測定

○館谷充隆・黒川 悟 (産総研)

PEM-6. マイクロ波伝搬と EO センサを用いた FRPM 管の診断技術

○上野文聖・村田博司・岡村康行 (阪大)・奥田忠宏・裕 昌也 (栗本鐵工)

PEM-7. [依頼講演] 光技術によるテラヘルツ連続波の電界分布計測

○久武信太郎・ハイファイ ファム・永妻忠夫 (阪大)

PEM-8. [依頼講演] 光ファイバ実装電気光学プローブを用いたイオンエンジン内のマイクロ波電界分布計測

都甲浩芳 (NTT)

EMCJ-9. グランドプレーン上任意高におけるダイポールアンテナ係数測定の不確かさ

○森岡健浩 (産総研)・平沢一紘 (筑波大)

EMCJ-10. ウエアラブル機器への ESD イミュニティ試験の検討

○石田武志 (ノイズ研/電通大)・肖 鳳超・上 芳夫・藤原 修・仁田周一 (電通大)

EMCJ-11. [特別講演] 光応用電磁界計測の研究動向と EMC 計測への応用 黒川 悟 (産総研)

PEM-12. [特別講演] パルスエコー時間領域イメージングの非破壊検査応用 福永 香 (NICT)

◆IEEE EMC Society Sendai Chapter, IEEE EMC Society Japan Chapter 協賛

☆EMCJ 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12月19日(金) 静岡大 [締切済] テーマ: 電力, EMC 一般

1月22日(木), 23日(金) 沖縄産業支援センター [11月10日(月)] テーマ: 通信, 無線電力伝送, EMC 一般

2月 休会

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

肖 鳳超 (電通大)

E-mail: [emcj@mail.ieice.org](mailto:emcj@mail.ieice.org)